

# お客さまの多様なニーズにお応えする 付加価値の高いサービスについて

## 沖縄電力会員サイト『おきでんmore E』の開設

お客さまとのコミュニケーションを深め、さらに信頼関係を育んでいくことを目的に、沖縄電力会員サイト「おきでんmore-E」（登録無料）を2020年9月より開設いたしました。

同サイトでは、お客さまが“もっとお得”になる「ポイントサービス」や、“もっと便利”になる「見える化サービス」、「情報提供サービス」、「参加型サービス」等を提供し、これまで以上にお客さまの快適で豊かな暮らしをサポートしてまいります。

「おきでんEポイントサービス」は、県内でポイントサービスを運用する企業との連携を通し、県経済やポイント市場を活性化してまいります。また、県内プロスポーツチームの応援にご利用いただくことで、沖縄を元気にするとともに社会福祉・医療サポート・環境活動等を行う団体への寄付を通し、子供の貧困や環境保全など、地域の課題解決に貢献してまいります。

### ○「おきでんmore-E」サービス概要

#### Eね!! 1 「おきでんEポイント」を貯める・使う

当社から電気を購入もしくは当社と売電契約を行う会員のお客さまには、「おきでんEポイント」が付与されます!!

「おきでんEポイント」は地域のお店での買物、プロスポーツチームの応援、社会活動等の寄付に利用できます。



#### Eね!! 2 見える化サービス

電気料金や電気使用量、太陽光の売電料金や売電電力量のグラフ表示、よく似た家庭との電気使用量比較などエネルギー診断が行なえます。



#### Eね!! 3 情報提供サービス

暮らしに役立つコラムや地域の情報を掲載。



#### Eね!! 4 参加型サービス

各種キャンペーンやイベント、アンケートに参加してポイントゲット!!



### ○ おきでんEポイント提携先

#### ポイント交換先

(株)サンエー（スーパー）、沖縄ICカード(株)（バス料金支払い等）、(株)沖縄銀行（金融機関）、(株)琉球銀行（金融機関）

#### ポイント寄付先

スポーツチーム（FC琉球（サッカー）、琉球ゴールデンキングス（バスケットボール）、琉球コラソン（ハンドボール）、琉球アスティータ（卓球））  
各種団体（沖縄こども未来プロジェクト（こどもの貧困対策等）、りゅうちゃん子供の希望募金（こどもの貧困対策等）、公益財団法人みらいファンド沖縄（小中高生の部活動遠征費基金）、NPO法人メッシュ・サポート（医療サポート）、おきなわアジェンダ21県民会議（環境保全活動等））

※ポイント提携先は順次拡大していきます。

## 電化機器リースサービス『りっか電化リース』

「オール電化」の安心・快適・キレイ・お得のメリットをより多くのお客さまにお届けするため、当社グループの沖縄企業株式会社、株式会社沖設備と連携し、ご家庭向けの電化機器リースサービス「りっか電化リース」を開始いたしました。

### ○「りっか電化リース」サービス概要

「電気給湯機」と「IHクッキングヒーター」を毎月定額のお支払い（リース）でご提供いたします。

IHクッキングヒーター



※写真はイメージです。

電気給湯機



※写真はイメージです。

オール電化リース料金

毎月定額

**4,900円**~ (税別)

※電気温水器370L、2口IHグリルなしの場合  
(2020年6月現在)

機器の費用や  
工事費が気になる…

初期費用  
**0円**  
※1

どのくらいの期間  
リース出来ますか？

リース期間  
**10年**

急な故障にも  
対応してくれますか？

故障受付  
**24時間**  
※2

リース期間中に  
壊れた場合は？

無料修理  
**10年**  
※3

※1 一部施工実費分をいただく場合がございます。機器代と標準取付工事費は月々のリース料金に含まれています。  
※2 メーカーでの故障受付となります。  
※3 契約書に定めるメンテナンス範囲内に限ります。お客さまの故意、過失による故障等については、修理が有料となる場合がございます。

### ○ ご契約の流れ



# 沖縄と地球環境の未来をつなぐための 取り組み

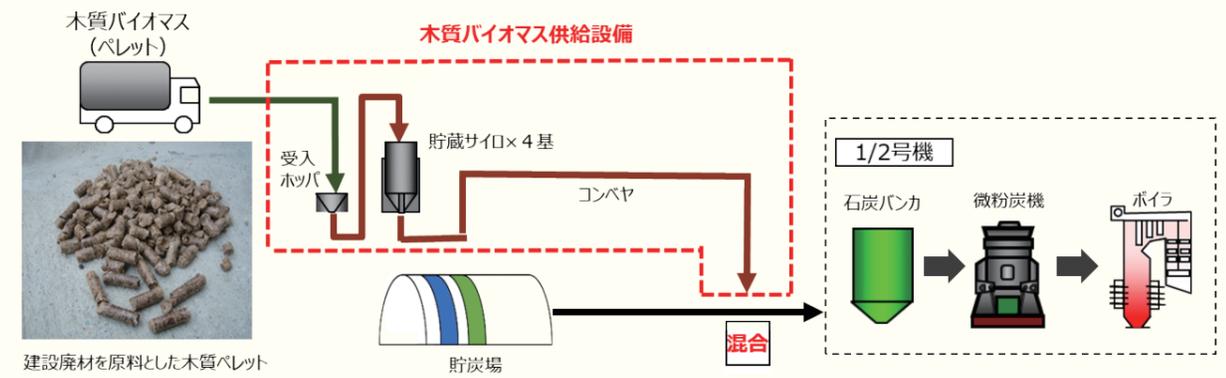


**“豊かで美しい沖縄と地球を未来へ引き継いでいく”ために、  
沖電グループで培った知見と技術で気候変動リスクに向き合い、  
低炭素社会と持続可能な社会の実現に貢献していきます。**

沖縄における電気の供給は地理的・地形的および電力需要規模の制約などから、主に化石燃料に頼らざるを得ない状況ですが、LNG（液化天然ガス）を燃料とする吉の浦火力発電所の安定的な運用をはじめ、木質バイオマス混焼などの再生可能エネルギーの導入拡大など、当社の取り得る地球温暖化対策に最大限取り組んでいます。

## ○沖縄電力のバイオマス発電 ～県内の建設廃材をリサイクルし、CO<sub>2</sub>排出量の削減へ～

当社では、沖縄県内で有効利用されず焼却処分されてきた建設廃材のリサイクル推進とCO<sub>2</sub>排出量の削減を目指し、2010年3月から具志川火力発電所(石炭火力)において木質バイオマス燃料の混焼に取り組んできました。また、新たに金武火力発電所(石炭火力)での導入を決定し、さらなる再生可能エネルギーの活用推進に向けて取り組んでいます。



・木質バイオマス使用量：年間 約3万トン※  
 ・混焼可能性：約3%（重量比）  
 ・CO<sub>2</sub>削減量：年間 約4万トン※  
 （※具志川・金武の合計）

## ○TCFD提言への賛同

当社は、当社事業活動が地球環境に大きく関係するという認識の下、2019年9月に「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言に賛同を表明しました。気候変動に関する情報開示の充実を図り、企業価値の向上に努め、持続的発展が可能な社会の実現に貢献していきます。（詳細は、P53参照）



## ○ 電動車活用推進コンソーシアムに参画

当社は、業務用車両の電動化を通じた社会課題の解決や持続可能な社会の実現に寄与するとの設立趣意に賛同し、2020年5月に「電動車活用推進コンソーシアム」に参画しました。  
 電動化にあたっての課題を同コンソーシアムにて共有・解決し、電動車の導入・活用を進めてまいります。

## ○再生可能エネルギー導入拡大に向けた取り組み

～島しょ国での再エネ導入拡大の課題へ挑戦し、沖縄から海外へ貢献～

沖縄県は、東西1,000km、南北400kmにおよぶ広大な海域に点在する大小160の島々からなる島しょ県です。また、亜熱帯地域に属する沖縄は、台風の襲来を頻りに受ける地域の一つです。それゆえ、太陽光や風力などの再生可能エネルギーは出力が不安定なことによる電気の品質に影響を受けやすいことや、台風襲来による強風や塩害などの自然災害への対応に時間とコストがかかるなど多くの課題を抱えてきました。沖電グループでは、この地域特性による課題と向き合い、再生可能エネルギー導入拡大に向けて沖縄の低炭素社会へ貢献していくとともに、沖電グループで培った「沖電発」の知見と技術として、同様な課題を抱える地域へ導入することで課題解決へ寄与していきます。

また、当社は経団連が政府と推進する『チャレンジ・ゼロ』宣言に賛同しています。（詳細は、P60参照）

### ●国内初となる可倒式風力を4離島で導入

風車を90度近く倒すことで

▼栗国可倒式風力発電設備

- ・台風時の強風による被害を回避
- ・地上でのメンテナンス作業が可能

などのメリットがあります。  
 （詳細は、P59参照）



### ●波照間島におけるモーター発電機（MGセット）の導入

MGセットは、これまで、系統に投入できずに出力制限していた再エネの余剰電力で充電した蓄電池を駆動電源として有効活用。（詳細は、P59参照）

世界的にも類を見ない取り組みです。

※沖縄県の委託事業



▲MGセット外観

### ●海外事業における取り組み ～ハイブリッド発電システム導入プロジェクトの受託～

沖縄と同様の課題を抱える太平洋島しょ国への技術支援とともに、電力の安定供給や化石燃料の消費削減、CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいます。（詳細は、P63参照）



▲再エネ導入状況(キリバス)

## ○電気と天然ガスの強みを活かし、総合エネルギー事業者として、 これからも沖縄の低炭素社会と持続可能な社会を共に創っていきます

LNG（液化天然ガス）を燃料とする吉の浦火力発電所の導入を機に、2015年度からガス供給事業を開始しました。電気以外のエネルギー源についても、石油系燃料に比べて燃焼時のCO<sub>2</sub>排出量の少ないLNGへ転換・活用することで、多様化するお客さまのニーズにお応えするとともに、沖縄エリアのCO<sub>2</sub>排出抑制に寄与しています。



# 当社CSRの取り組みとSDGsのつながり

当社グループは、国連で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」について、エネルギー関連など、当社が取り組めるものについては、積極的に取り組んでまいります。

## 持続可能な開発目標

Sustainable Development Goals:SDGs

2015年9月、国連サミットにて「持続可能な開発目標 (SDGs)」が全会一致で採択されました。2030年までに達成するべく、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動等に関する17のゴールが宣言されています。



## 当社CSRの取り組みとSDGsとの対比表

目次	関連するSDGs	主な取り組み
1 私たちの経営・経済 コーポレート・ガバナンス ▶P19		<ul style="list-style-type: none"> <li>● グループ大でのコーポレート・ガバナンスの強化、法令遵守・企業倫理の徹底に取り組んでいる。</li> </ul>
1 私たちの経営・経済 リスクマネジメント ▶P21	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設備などの災害対策の見直しを図るとともに様々な状況を想定した災害復旧の実践的、組織的な検証に取り組んでいる。</li> </ul>
1 私たちの経営・経済 広報活動・情報開示 ▶P23		<ul style="list-style-type: none"> <li>● グループ大でのホームページ等による積極的な情報開示や広報活動に取り組んでいる。</li> </ul>
2 私たちの社会 お客さまとの関わり (安定供給) ▶P27~P30	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お客さまの暮らしや経済活動を支えていく上で必要不可欠な電気を安定的に供給。燃料調達、発電・送变电・配電、離島への供給に関する取り組みを実施。</li> </ul>
2 私たちの社会 お客さまとの関わり (お客さまの満足度向上) ▶P31~P33		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「お客さまの声」対応方針を制定し、お客さまの視点に立った業務の改善、サービスの提供に取り組んでいる。</li> </ul>
2 私たちの社会 地域社会との関わり ▶P34~P39	      	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コーポレートスローガンである「地域とともに、地域のために」を経営の中心に据え、地域振興活動、社会福祉活動などに取り組んでいる。(NPO法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄へ食料を寄付 など)</li> <li>● 沖縄の未来を担う子どもたちに学ぶことの楽しさ、創造する心を育ててもらえるよう学術・教育関連行事への支援を実施。</li> <li>● 事業を通して培ってきた技術やノウハウを活かし、開発途上国へ技術支援を実施。</li> </ul>
2 私たちの社会 株主・投資家との関わり ▶P40		<ul style="list-style-type: none"> <li>● IR (投資家向け広報) 活動など、適時適切な情報開示に努めている。</li> </ul>
2 私たちの社会 従業員との関わり ▶P42~P45	   	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職場におけるハラスメントの防止に関する規定を定めるとともに、相談窓口を設置。</li> <li>● 障がい者や高齢者の雇用、従業員が心身ともに健康で意欲と夢をもって働けるよう健康経営に取り組んでいる。</li> </ul>
3 私たちの環境 ▶P47~P70	        	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境問題を経営の最重要課題として位置づけ、環境目標を設定し、環境負荷低減に努めている。</li> <li>● CO<sub>2</sub>排出抑制に向けて、石油や石炭に比べてCO<sub>2</sub>排出量の少ないLNG火力発電所の運用、再生可能エネルギーの活用、エネルギー利用の効率化など、当社が取り得る地球温暖化対策に最大限取り組んでいる。</li> <li>● 発電所や変電所等の建設・補修工事の際に、地域環境や生物多様性に配慮した様々な対策を実施。(赤土等流出防止対策など)</li> <li>● 発電所の運転による環境への影響を可能な限り低減するため、水質等に関する様々な環境保全対策を実施。(温排水対策など)</li> <li>● 再生可能エネルギーの活用やエネルギー利用の効率化に関する取り組みを実施。</li> <li>● 事業を通して培ってきた技術やノウハウを活かし、開発途上国などへの技術支援や国際協力を実施。</li> <li>● 限りある資源を有効に活用するとともに、持続可能な形で循環利用する社会の形成を目指し、事業活動で発生する産業廃棄物の発生抑制 (Reduce)、再使用 (Reuse)、再生利用 (Recycle) の3Rを推進。</li> <li>● 植樹祭等の緑化活動の実施。</li> <li>● 地域の小学校等における次世代への環境教育支援活動を実施。</li> </ul>